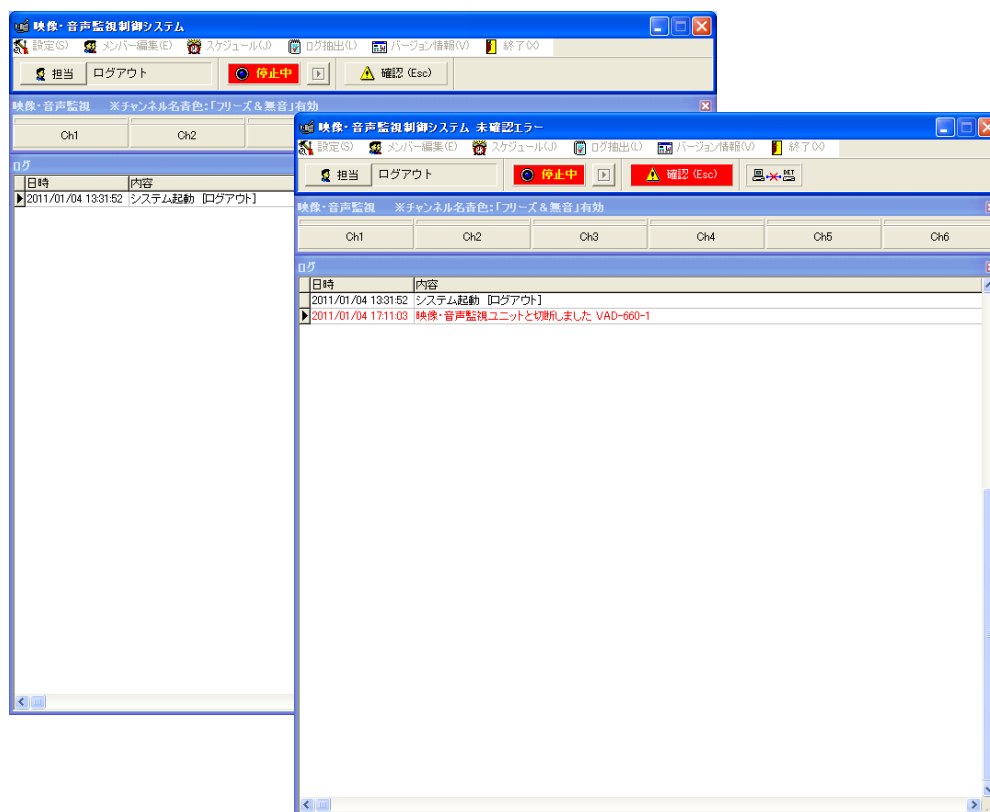
映像・音声監視制御システム　ＶＡＤ－６６０
V/A ERROR MONITORING SYSTEM

コントロールソフトウェア取扱説明書
Ｖｅｒ．１．１

目　　次

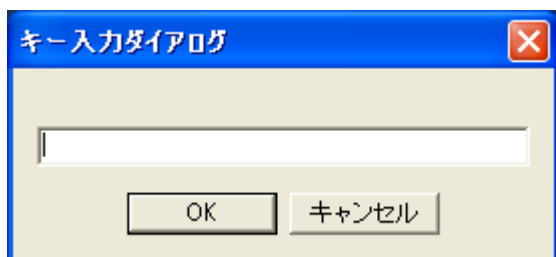
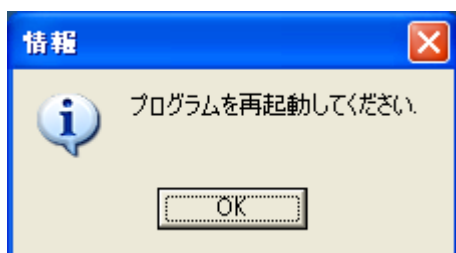
概　　要

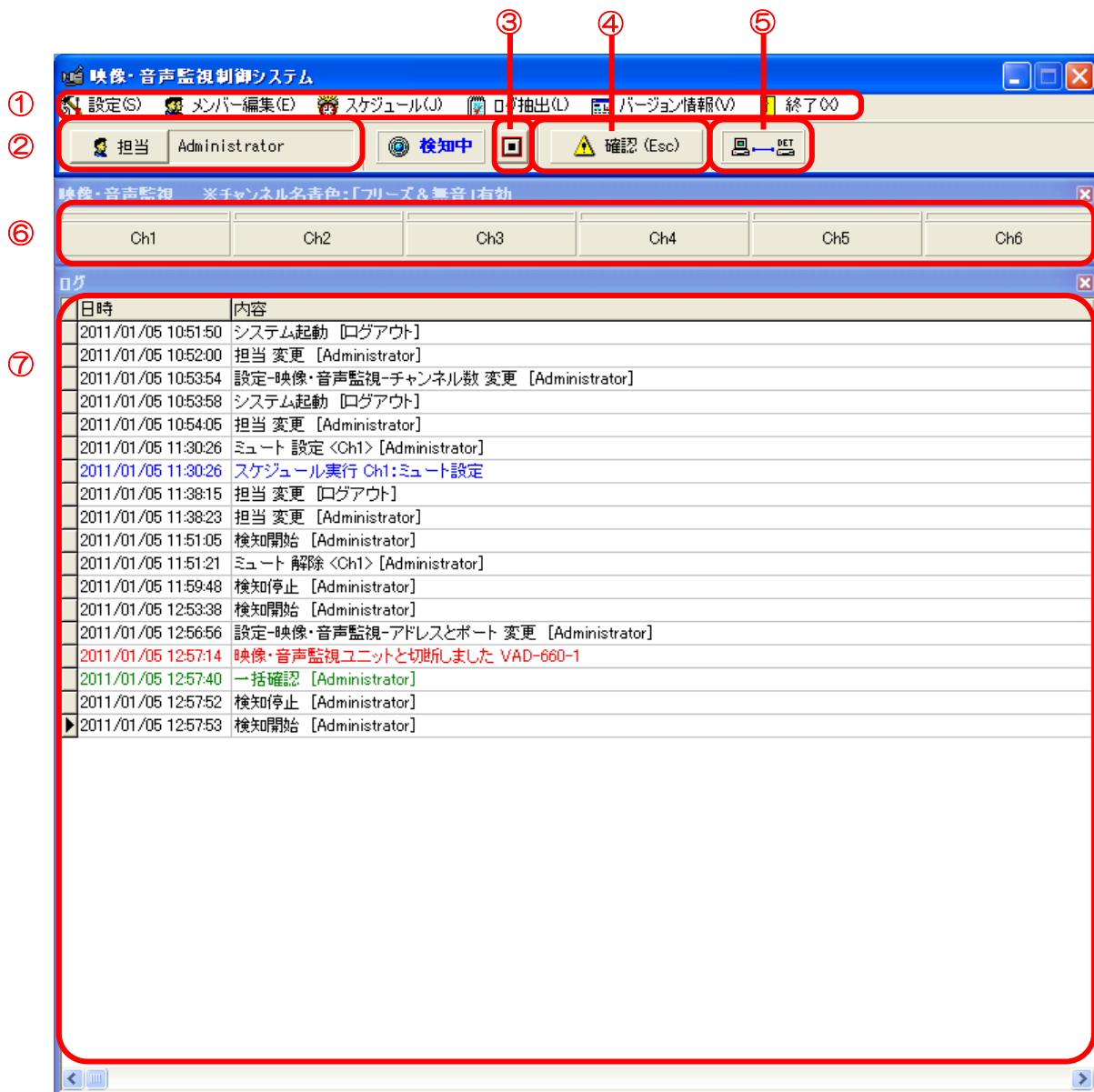
- このコントロールソフトウェア（以下、本ソフト）は、Ｖ／Ａエラー検出装置ＶＡＤ－６６０からの映像・音声のエラー情報を総合的に管理し、監視項目についてエラー情報を通知します。
- Ｖ／Ａエラー検出装置を最大２０台・１２０チャンネルまで同時に監視できます。システム設定により、チャンネル数・背景色等運用コンピュータ上に表現するＧＵＩを選択することができます。
- エラー通知と同時に該当するチャンネルのボタンが赤く変化し、ログウィンドウにエラー内容を表示します。エラーの確認操作・エラーの自動復帰でエラー発生チャンネルのボタン色が緑・黄・通常（灰）色に変化することで、状況を把握することができます。
- ログウィンドウには検知開始・停止、エラー確認操作、担当者変更、各種設定変更等も表示します。ログの内容は表計算・データベースソフトにて処理できるＣＳＶ形式でファイルに保存することができます。
- 監視チャンネル毎にチャンネル名称やエラー毎の判定通知時間を設定することができます。
- スケジュール機能を装備し、この機能を利用してチャンネル毎のミュート設定・解除が可能です。

運用画面／起動直後

エラー発生画面

０．初回起動時の認証について

インストール後、最初の起動時には認証キーの入力が必要です。

① 初回ソフトウェアを起動しますと、以下のキー入力ダイアログが表示されます。
販売元から配布された認証キーを入力し、 OK ボタンをクリックします。

② 正しいキーを入力すると、本ソフト再起動のメッセージが表示されます。
これ以降は通常に起動します。

1．運用中画面説明

運用中は下記のような画面になります。

① メニューバー

② 担当者選択ボタン・・・【2－2　担当者登録方法】参照

③ 検知開始／停止ボタン・・・【8．運用方法】参照

④ システムエラー確認ボタン（一括確認ボタン）
システムエラーがあった場合にボタンが赤色に変わります。
ボタンをクリックすることでエラーを確認したとみなし、色が戻ります。
また、各チャンネルでエラーが発生した際にクリックすると全てのエラーを確認したとみなす、「一括確認ボタン」としても機能します。（【8．運用方法】参照）

⑤　ＬＡＮ接続状況ステータス

Ｖ／Ａエラー検出装置との接続状況を表します。

接続されていない状態では何も表示されません。

正常に接続されている状態では　と表示されます。

接続に異常があるときは　と表示されます。

⑥　チャンネルボタン、ミュートボタン・・・【８．運用方法】参照

この領域で右クリックするとメニューリストがポップアップします。

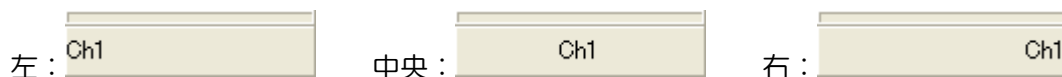
ａ．背景色

映像・音声監視ウィンドウの背景色を設定します。

設定したい色を選択し、 OK ボタンをクリックします。

映像・音声監視ウィンドウの背景色が変わります。

ｂ．名称

チャンネルボタン内のチャンネル名表示位置を設定します。

⑦　ログリスト

エラー発生状況や管理ソフト操作状況などをログ表示します。

2．担当者管理について

2－1．担当者の種類

本ソフト起動時は、担当者に【ログアウト】が設定されています。
担当者が【ログアウト】の状態では各種設定や確認作業など、なにも行うことができません。
（本ソフトを終了することもできません。）

担当者には下記の３種類があります。

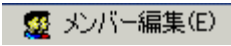
1．ａｄｍｉｎｉｓｔｒａｔｏｒ【デフォルトの管理者】

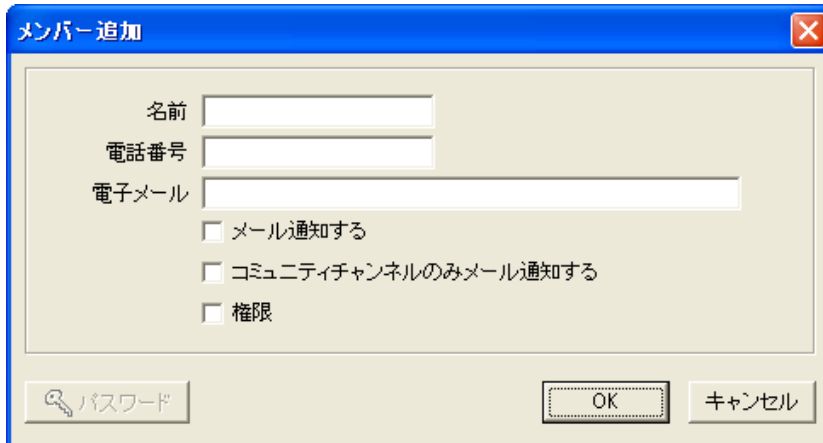
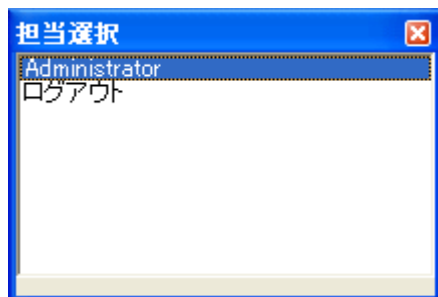
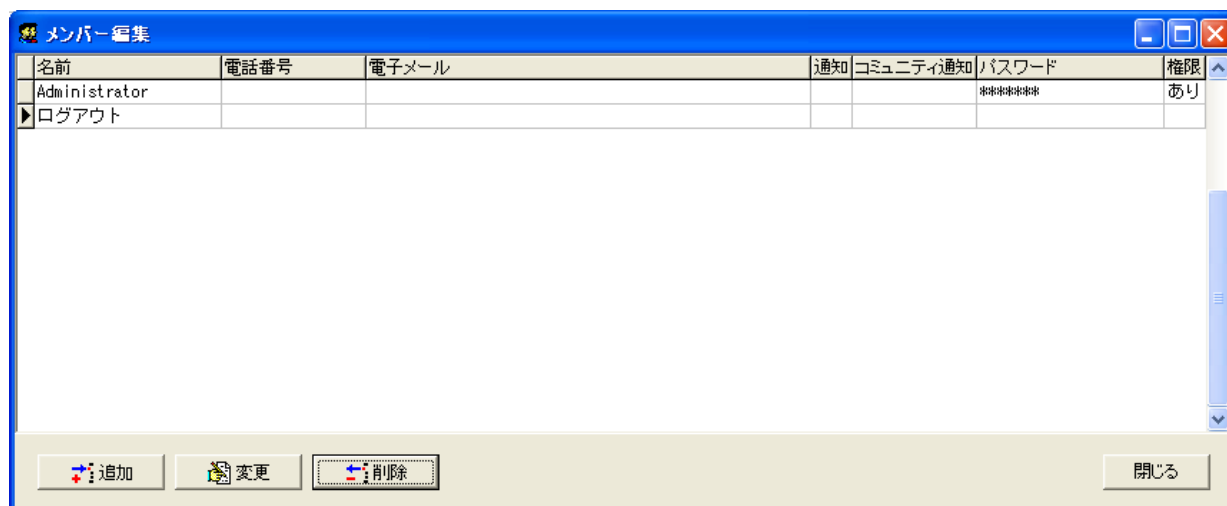
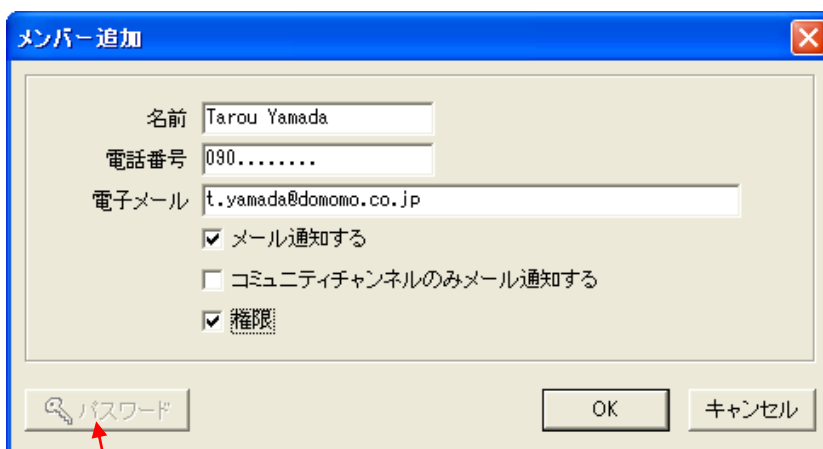
本ソフトインストール時にデフォルトで登録されている担当者です。

※ デフォルトのログインパスワードは【 [admin] 】となっております。 インストール後、パスワードの変更をお願いいたします。

2．管理者ユーザー

上記“ａｄｍｉｎｉｓｔｒａｔｏｒ”と同じ権限を持つ担当者です。
エラーの確認、エラーログの検索の他、検知停止・開始・マスク値の変更、その他全ての設定項目の変更が可能です。

3．運用者ユーザー

エラーが発生した際の確認・エラーログの検索のみ可能です。

２－２．担当者登録方法

① 担当 ボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。
インストール直後は、“Administrator”と “ログアウト” しかありませんので、
“Administrator”でログインしてください。（デフォルトのパスワードは【 [admin] 】です。）

② メニューバーの メンバー編集(E) をクリックすると、下記画面が表示されます。

③ 追加 ボタンをクリックし、新規担当者を登録します。（下記画面となります。）

a．名　　　前：担当者の名前を入力します。（*入力必須）

b．電 話 番 号：オプションでモデムを取り付けることにより、エラーが起こった際に
　　　　　　　　発信する電話番号を入力します。

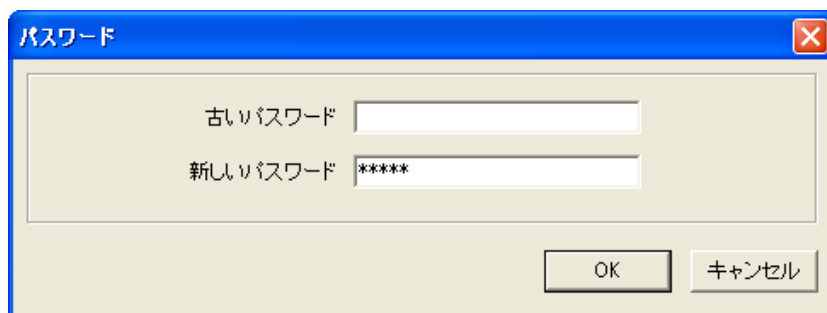
c．電子メール：メール通知する にチェックをつけ、メールサーバーを設定することにより
　　　　　　　　（【３－１（５）メールサーバーの設定】を参照）、エラーが発生した場合に
　　　　　　　　メール通知する宛先アドレスです。

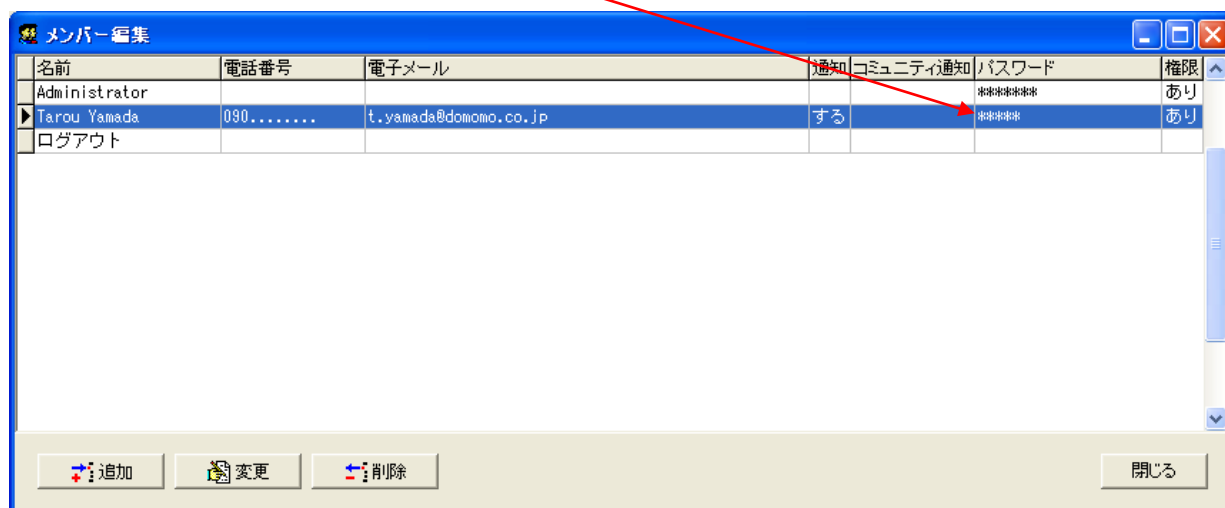
d．コミュニティチャンネルのみメール通知する
　　　　　　　：コミュニティチャンネルを設定した場合（【３－２（２）コミュニティ
　　　　　　　　チャンネルの設定】を参照）、コミュニティチャンネルにエラーが発生した
　　　　　　　　場合のみメール通知します。

e．権　　　限：ここにチェックをつけると先に述べた“管理者ユーザー”となります。
　　　　　　　　（ここにチェックが無い場合は、“運用者ユーザー”となります。）

④ 必要事項を入力し、 OK ボタンをクリックします。

まだパスワードは設定できません。

⑤　担当者が追加されます。

⑥　担当者のログインに、パスワードを追加する場合、追加したい担当者にカーソルを移動し、ダブルクリックするか 変更 ボタンをクリックします。

このボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。

“古いパスワード” はデフォルトでは何も入っていませんので、入力しないでください。
“新しいパスワード” にパスワードを入力し、 OK ボタンをクリックしてください。

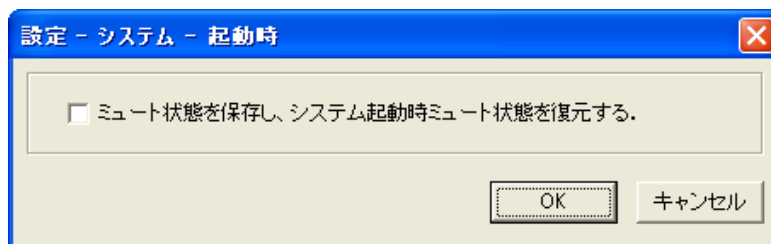
パスワードが登録されました。

３．設定（メニューバー）

３－１．システム設定

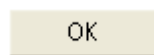
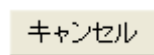
チャンネル表示ボタン数、エラーログほか、エラー発生時の読み上げテキスト、時刻合わせ等の設定を行ないます。

（１）起動時

起動時のミュート動作を設定します。

① 本画面の表示
メニューバーの「設定」→「システム」→「起動時」をクリックします。

② 設定
☑ ミュート状態を保存し、システム起動時ミュート状態を復元する。
チェックを付けると、本ソフト終了時のミュート状態を保持します。

☐ ミュート状態を保存し、システム起動時ミュート状態を復元する。
チェックをはずすと、本ソフト起動時、常にミュート解除状態となります。

③ 設定の保存と本画面の終了
［OK］ボタンをクリックします。

④ 本画面の終了
［キャンセル］ボタンをクリックします。

（２）時刻補正

運用コンピュータの時刻補正方法を設定します。
※ここで設定する時刻補正は本ＰＣのみの設定項目です。

① 本画面の表示
　メニューバーの「設定」→「システム」→「時刻補正」をクリックします。

② 設定値の編集
１）時刻の取得方法

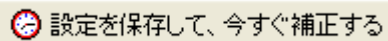
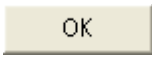
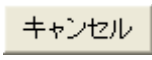
i をクリックすると別ウィンドウに注意事項が開きますのでこちらを参考に入力します。

ａ．タイムコード読み取りボード（ＡＥＣ＿ＰＣＩ－ＴＣ）を使用する
タイムコードボードがパソコンに増設されている場合、ボードを使って時刻を補正することができます。
タイムコード読み取りボード(AEC_PCI-TC)を使用する を選択します。

ｂ．ＮＴＰサーバーを使用する
パソコンがインターネットに接続されている場合、ＮＴＰサーバーを使って時刻を補正することができます。
NTPサーバーを使用する を選択します。
ＮＴＰサーバーのＩＰアドレスを設定します。

ｃ．ＨＴＴＰ通信を使用する
パソコンがインターネットに接続されている場合、ＨＴＴＰサーバーを使って時刻を補正することができます。
HTTP通信を使用する を選択します。
ｗｅｂサーバーのＩＰアドレスとポート番号を設定します。

２）時刻合わせの契機

ａ．日に２回
日に2回 を選択して時刻補正を行う時間を設定します。
※補正時刻を<0:00:00>に設定すると補正処理を行いません。
※2 つの時刻は最低３分以上あけてください。

ｂ．日に数回
日に数回 を選択して時刻補正を行う間隔時間を設定します。
※間隔時間を<０>に設定すると補正処理を行いません。

※<23:55:00 ～ 0:05:00>の間は補正処理を行いません。

③ 設定の保存と手動補正

設定を保存して、今すぐ補正する ボタンをクリックします。

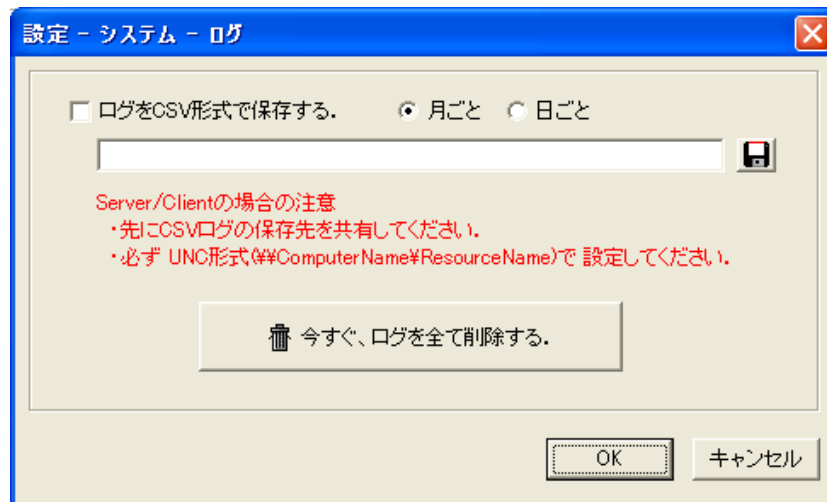
④ 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

⑤ 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

（３）ログ

ログの全削除実行と CSV 形式の自動ログ保存について設定します。

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「システム」→「ログ」をクリックします。

② ログの保存設定

ａ．ログをＣＳＶ形式で保存する

☑ ログをCSV形式で保存する。 にチェックを付けると、各ログをＣＳＶ形式で自動保存することができます。

ｂ．保存単位

月単位で保存したい場合は ◉ 月ごと を選択します。

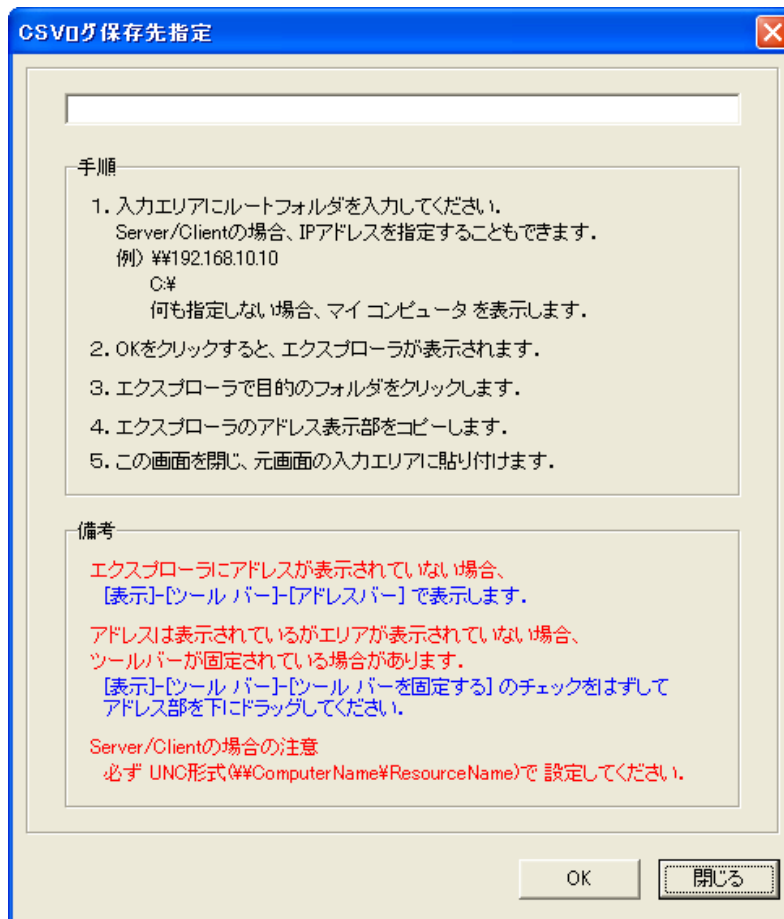
日単位で保存したい場合は ◉ 日ごと を選択します。

保存されるＣＳＶファイル名は運用コンピュータのシステム日付（西暦年・月・日）より、

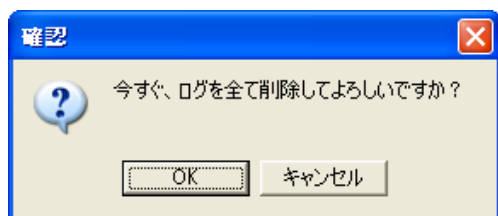
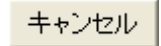
- ◉ 月ごと を選択 ： “9999_99.csv” （西暦年＿月．ＣＳＶ）
  例．2011_01.csv
- ◉ 日ごと を選択 ： “9999_99_99.csv” （西暦年＿月＿日．ＣＳＶ）
  例．2011_01_01.csv

のＣＳＶファイル形式で作成・保存されます。

ｃ．保存先フォルダ選択

欄にＣＳＶファイルの保存先を直接入力するか、 ボタンをクリックして保存場所を選択します。

表示される「手順」に沿って、保存先フォルダを設定します。

③　ログの削除

［今すぐ、ログを全て削除する.］ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。

［OK］ボタンをクリックした時点で、現在までのログが全て削除されます。

※ログの削除はデータベース上のデータが削除されるのみで、保存したＣＳＶファイルは削除しません。

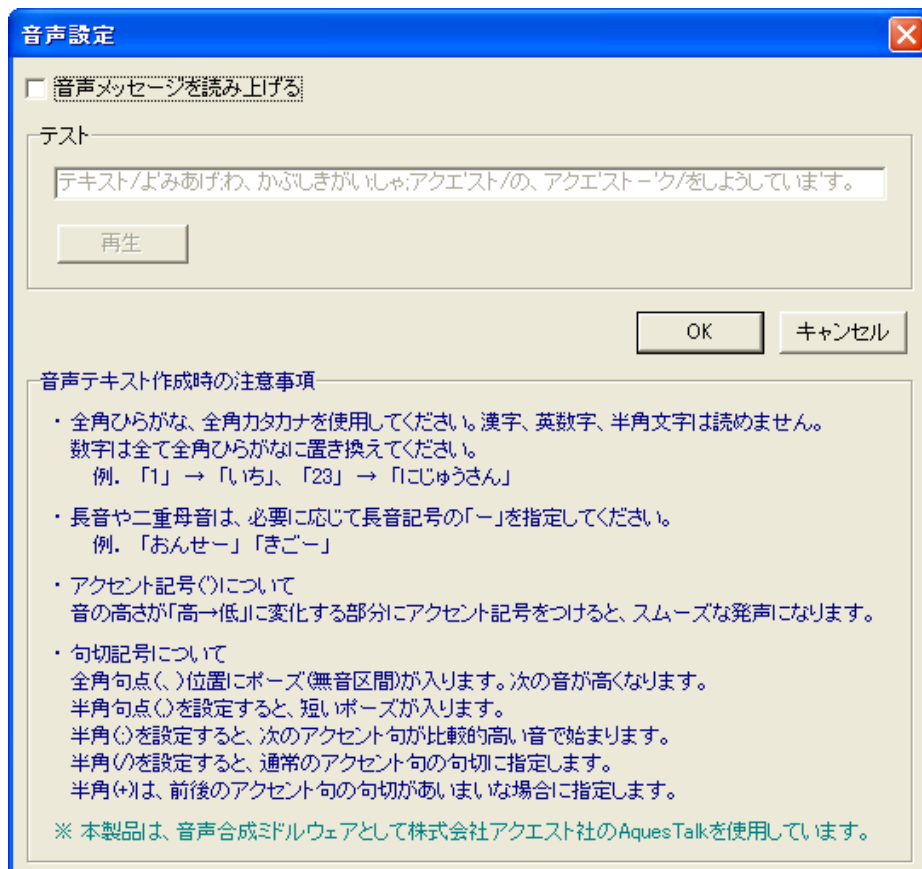
④　ログの保存設定の保存と本画面の終了

［OK］ボタンをクリックします。

⑤　本画面の終了

［キャンセル］ボタンをクリックします。

（４）テキスト読み上げ

エラー発生時にエラーメッセージを音声で読み上げる設定を行います。

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「システム」→「テキスト読み上げ」をクリックします。

② 設定

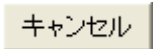
ａ．音声読み上げの設定

☑ 音声メッセージを読み上げる

チェックを付けると、エラー発生時、スケジュール開始・停止時に音声案内を行います。

☐ 音声メッセージを読み上げる

チェックをはずすと、音声案内は行いません。

ｂ．テスト読み上げ

[再生] ボタンをクリックすると、「テスト」に表示されているテキストを読み上げます。

③ 設定の保存と本画面の終了

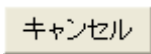
[OK] ボタンをクリックします。

④ 本画面の終了

[キャンセル] ボタンをクリックします。

（5）メールサーバーの設定

運用コンピュータがインターネットに接続されている場合、エラー発生をメールで通知することができます。メール送信する場合は、メールサーバーの情報を設定してください。

① 本画面の起動
メニューバーの「設定」→「システム」→「メールサーバー」をクリックします。

② 設定画面の切り替え
「メールサーバー設定」、「メール通知設定」の各タブをクリックします。

③ 設定の保存と本画面の終了
OK ボタンをクリックします。

④ 本画面の終了
キャンセル ボタンをクリックします。

１）メールサーバー設定

メール通知のためのサーバー情報を設定します。

設定 － システム － メールサーバー

メールサーバ設定 | メール通知設定

ユーザー情報

名前　V/A Error Monitoring System

送信アドレス

件名

送信サーバー情報

Outbound Port 25 Blockingに対応する [25]ポート使用

SMTP認証方式　次の設定

SMTPサーバー

アカウント名

パスワード

受信サーバー情報

POPサーバー

アカウント

パスワード

その他

メール送信できなかったときの処理

リトライ回数　0

リトライ間隔(秒)　5

送信メッセージのエンコード方法

SHIFT_JIS

送信テスト　OK　キャンセル

ユーザー情報：

名前：メールを送信する際の、送信元名となります。

送信アドレス：メールを送信する際の、送信アドレスとなります。

件名：メールを送信する際の、メール表題となります。

送信サーバー情報：

SMTP サーバーの情報を入力します。

Outbound Port 25 Blockingに対応する [25]ポート使用 は、必要に応じてチェックをつけて下さい。

SMTP 認証方式：

不要
受信サーバーと同じ設定
次の設定
POP before SMTPに対応する

プルダウン方式で、左記選択が可能です。SMTP サーバー固有のアカウント名、パスワードが必要な場合は、次の設定を選択し、以下の項目も入力してください。

SMTP サーバー：SMTP サーバー名を入力します。

アカウント名：SMTP サーバーのアカウント名を入力します。

パスワード：SMTP サーバーのパスワードを入力します。

受信サーバー設定：

SMTP 認証方式で、POP before SMTPに対応するを選択された場合のみ入力して下さい。

POP サーバー：POP サーバー名を入力します。

アカウント：POP アカウント名を入力します。

パスワード：POP サーバーのパスワードを入力します。

その他：

メール送信できなかった時の処理：

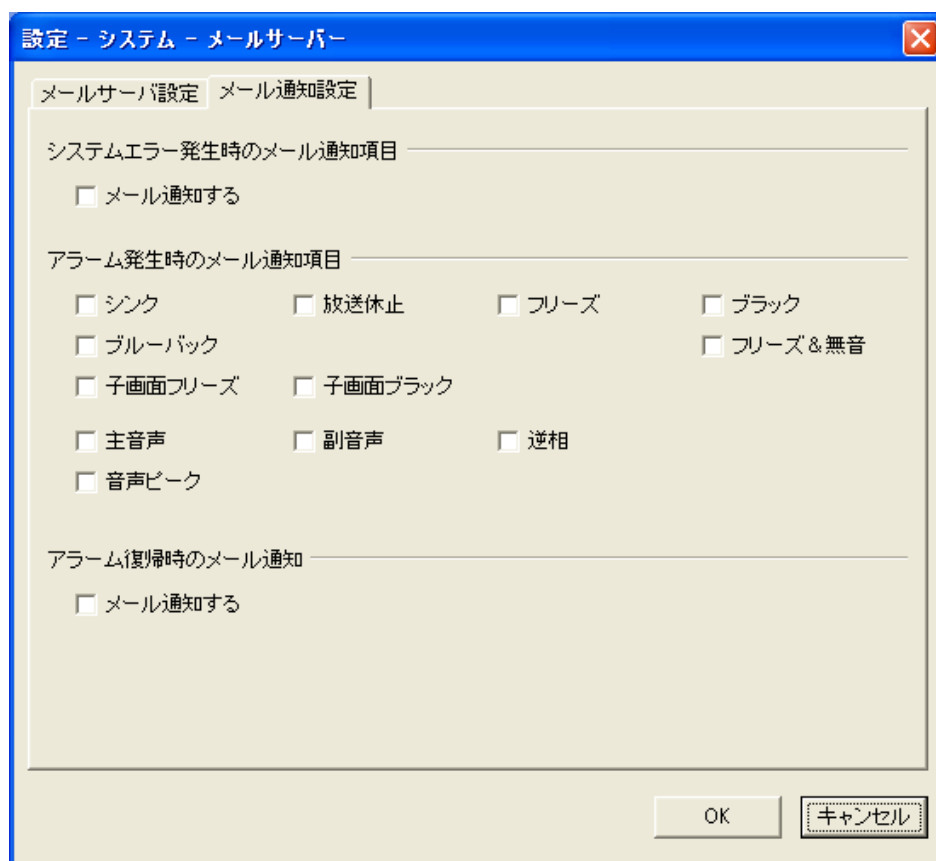
サーバーの認証に時間が掛かったり、うまくサーバーに接続できない場合、メール送信のリトライを設定する事ができます。
サーバー毎に適切な回数と間隔をテストし、設定して下さい。

送信メッセージのエンコード方法：

メーラーによっては、文字化けしてしまう現象が発生致しますので、左記のプルダウンメニューリストから、適切なエンコード方法を選択して下さい。

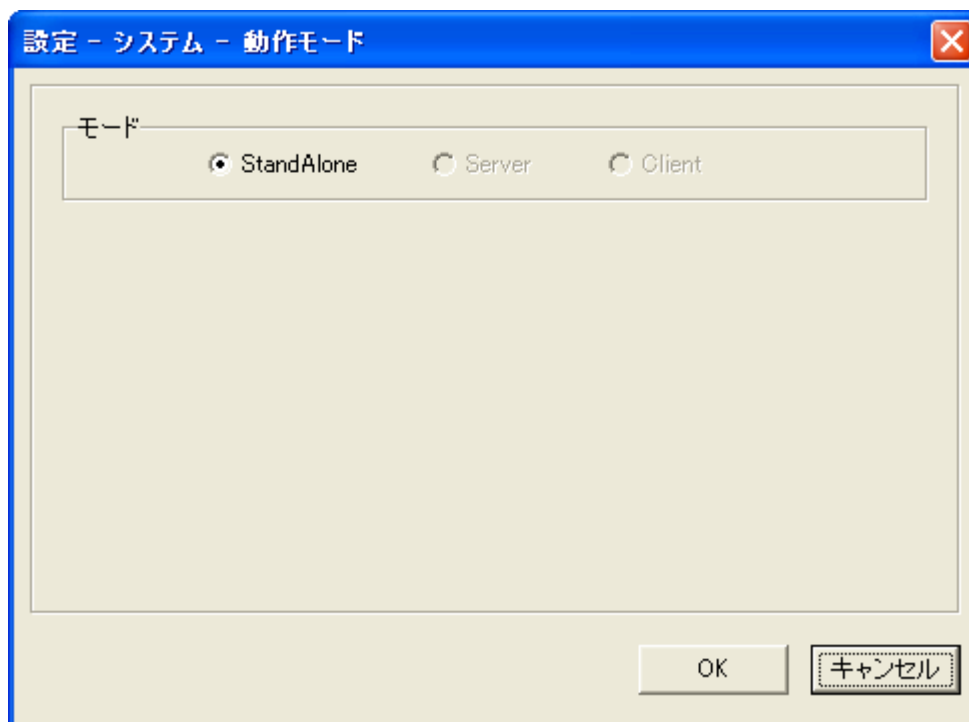
送信テスト：

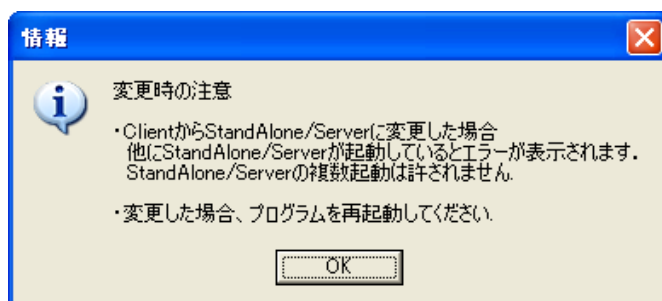
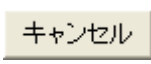
送信テスト ボタンをクリックすると、【２－２　担当者登録方法】にて設定したアドレスにテストメールが送信されます。メールが届かない場合はもう一度設定内容をご確認ください。

2）メール通知設定
メール通知の要否を選択します。

メール通知したい項目のチェックボックスにチェックを付けます。

※チェックを付けても、マスク値が０秒と設定されているエラーはメールされません。

（6）動作モード

クライアント機が増えるなど、システム形態が変わる場合に設定します。

① 本画面の起動

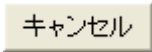
メニューバーの「設定」→「システム」→「動作モード」をクリックします。

上記メッセージが表示されますので、 OK ボタンをクリックします。

② 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

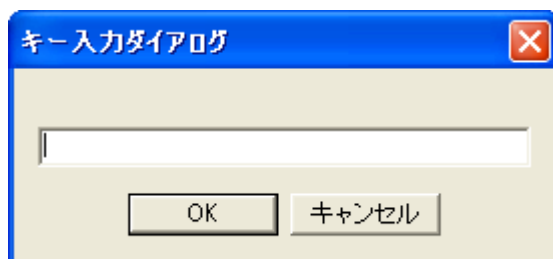
③ 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

（７）表示方法

本機能では運用画面の３つのウィンドウ、「映像・音声監視制御システム」「映像・音声監視」「ログ」を連動させるか、独立させるか設定することができます。
本機能に画面は存在しません。

① 表示方法の切り替え
メニューバーの「設定」→「システム」→「表示方法」
→「すべて独立」もしくは「すべて連動」をクリックします。

（８）キー設定

クライアント増設の場合に、新たに発行される認証キーを設定します。

① 本画面の起動
メニューバーの「設定」→「システム」→「キー設定」をクリックします。

② 設定の保存と本画面の終了
OK ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了
キャンセル ボタンをクリックします。

３－２．映像・音声監視設定

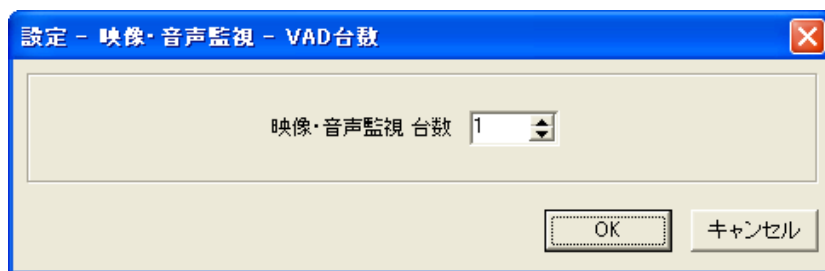
エラー検出装置のＩＰアドレス・ソケットポートやエラー検出時のアラーム・ログメッセージ、チャンネル毎の名称・マスク値（エラーと判定する時間）を設定します。

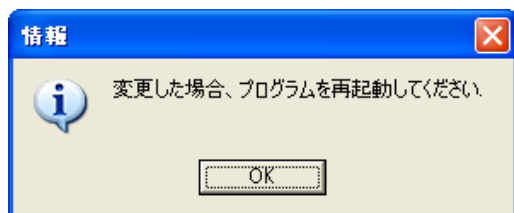
＜注意：チャンネル表記について＞

ＶＡＤ－６６０は１台につき６ｃｈです。
このソフトウェアでは下記のように表示されます。

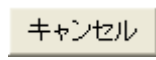
チャンネル	表示
１ｃｈ ２ｃｈ ３ｃｈ ４ｃｈ ５ｃｈ ６ｃｈ	ＶＡＤ－６６０　１台目
７ｃｈ ８ｃｈ	選択不可
９ｃｈ １０ｃｈ １１ｃｈ １２ｃｈ １３ｃｈ １４ｃｈ	ＶＡＤ－６６０　２台目
１５ｃｈ １６ｃｈ	選択不可
・ ・ ・	
１５３ｃｈ １５４ｃｈ １５５ｃｈ １５６ｃｈ １５７ｃｈ １５８ｃｈ	ＶＡＤ－６６０　２０台目
１５９ｃｈ １６０ｃｈ	選択不可

（１）ＶＡＤ台数の設定

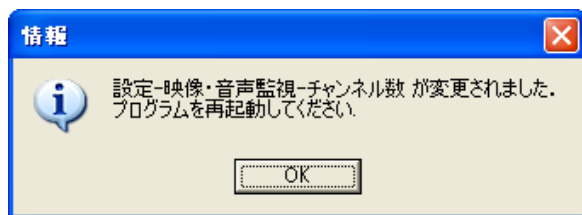
ＶＡＤ－６６０の接続台数を設定します。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「ＶＡＤ台数」をクリックします。

上記メッセージが表示されますので、 OK ボタンをクリックします。

② 台数の設定

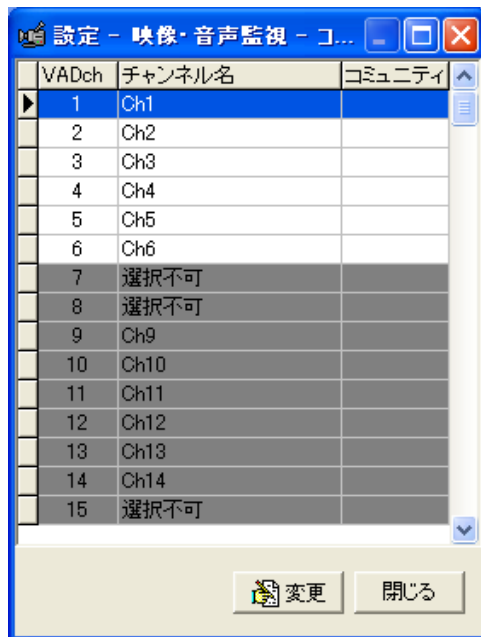
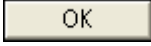
接続しているＶＡＤ－６６０の台数を設定します。　※最大２０台です。

③ 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

台数を変更すると下記メッセージが表示されますので、 OK ボタンをクリックします。
自動的にソフトウェアが終了しますので、再起動してください。

④ 本画面の終了

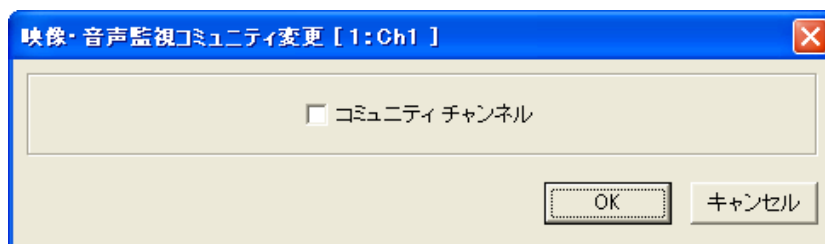
キャンセル ボタンをクリックします。

（2）コミュニティチャンネルの設定

【2－2　担当者登録方法】で ☐コミュニティチャンネルのみメール通知する にチェックを付けたユーザーにはここで設定したチャンネルでエラーが発生したときのみメール送信を行います。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「コミュニティ」をクリックします。

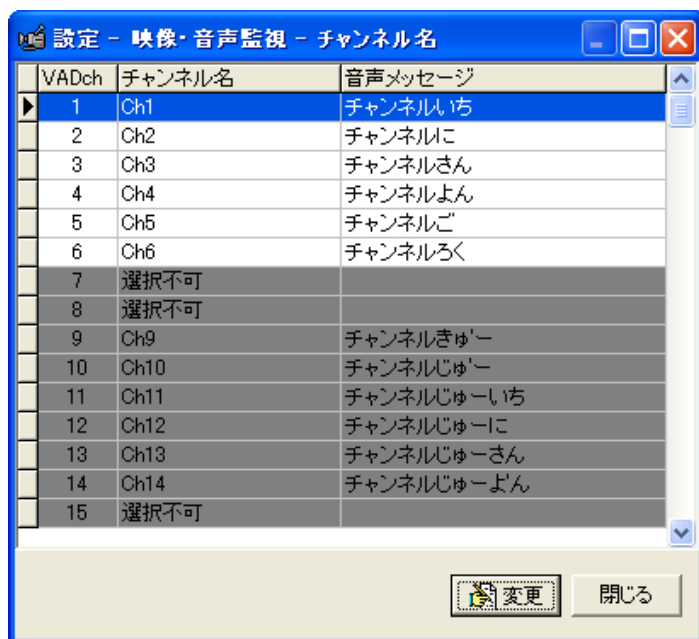
② コミュニティチャンネルの設定

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて 変更 ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

☑コミュニティ チャンネル にチェックをつけ、 OK ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

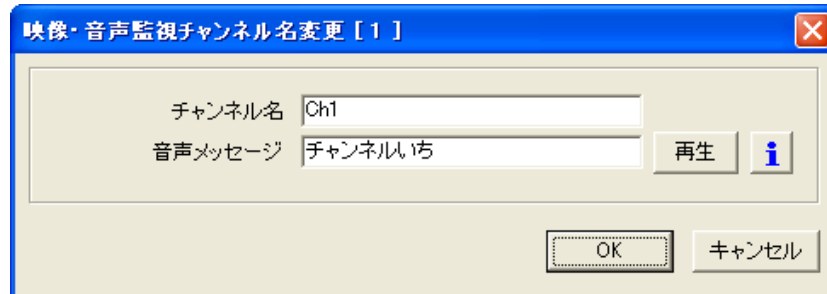
閉じる ボタンをクリックします。

（3）チャンネル名称の設定

チャンネル名称と音声メッセージを設定します。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「チャンネル名」をクリックします。

② チャンネル名称の設定

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて 変更 ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

ａ．チャンネル名
運用中の表示画面のボタンに示される文字を入力します。

ｂ．音声メッセージ
音声メッセージで読み上げられるチャンネル名を入力します。

i をクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますのでこちらを参考に音声メッセージを入力します。

再生 ボタンをクリックするとテキストを読み上げます。

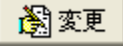
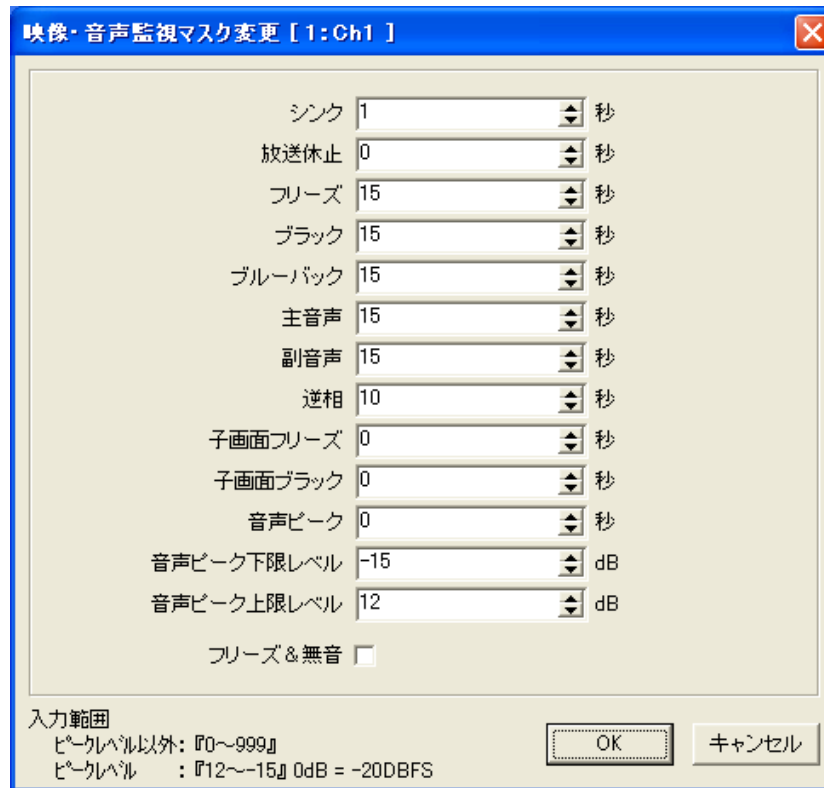
入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

（４）各チャンネルごとのアラーム設定（マスク値の設定）

各検知項目のマスク値を設定します。

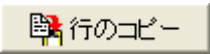
マスク値とは：サーバーが、エラー検出装置からの連続するエラー情報を、エラーとして判定・通知するまでの時間です。

VADch	ｼﾝｸ	放送休止	ﾌﾘｰｽﾞ	ﾌﾞﾗｯｸ	ﾌﾞﾙｰﾊﾞｯｸ	主音声	副音声	逆相	子画面ﾌﾘｰｽﾞ	子画面ﾌﾞﾗｯｸ	音声ﾋﾟｰｸ	下限ﾚﾍﾞﾙ	上限ﾚﾍﾞﾙ	ﾌﾘｰｽﾞ&無音
1	1	0	15	15	15	15	15	10	0	0	0	-15	12	
2	1	0	15	15	15	15	15	10	0	0	0	-15	12	
3	1	0	15	15	15	15	15	10	0	0	0	-15	12	
4	1	0	15	15	15	15	15	10	0	0	0	-15	12	
5	1	0	15	15	15	15	15	10	0	0	0	-15	12	
6	1	0	15	15	15	15	15	10	0	0	0	-15	12	
7	1	0	25	5	5	10	10	0	0	0	0	-15	12	
8	1	0	25	5	5	10	10	0	0	0	0	-15	12	
9	1	0	25	5	5	25	25	0	0	0	0	-15	12	
10	1	0	25	5	5	25	25	0	0	0	0	-15	12	
11	1	0	25	5	5	25	25	0	0	0	0	-15	12	
12	1	0	25	5	5	25	25	0	0	0	0	-15	12	
13	1	0	25	5	5	25	25	0	0	0	0	-15	12	
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-15	12	

①　本画面の起動

　メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「マスク」をクリックします。

② マスク値の設定

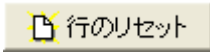
変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて 変更 ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

・１秒～９９９秒間で設定が可能です。０秒の項目は検知対象外とします。
・音声のピークレベルについては、『１２～－１５』dBの範囲で設定できます。
・『フリーズ』と『無音』のみ “アンド”設定ができます。
　フリーズ＆無音については【９－１フリーズ＆無音エラー検知機能】を参照してください。
　フリーズ＆無音にチェックを付けるとチャンネルボタンのチャンネル名が青色になります。

【マスクの優先順位】

１．シンク：エラー発生時は、他のエラーは通知しません。 ２．放送休止：放送休止中は、シンクのみエラー通知し、他のエラーは通知しません。 ３．その他のマスク値は全て同列です。

<子画面について>

子画面のあるチャンネルで、子画面とベース画面別々にエラー検知をする場合の設定です。
子画面は、次の【３－２（５）ロケーションデータの設定】で設定します。

入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

③　行のコピー

コピーしたい行を選択し、 行のコピー ボタンをクリックします。

④　行の貼り付け

上記でコピーした値を貼り付けたい行を選択し、 行の貼り付け ボタンをクリックします。

⑤　行のリセット

行のリセット ボタンをクリックすると、選択した行のマスク値を０にします。

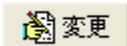
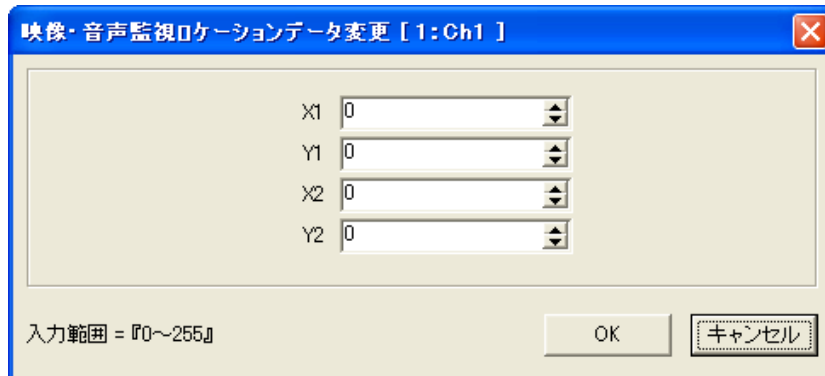
（下限レベルは－１５ｄＢ、上限レベルは１２ｄＢになります。）

⑥　本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

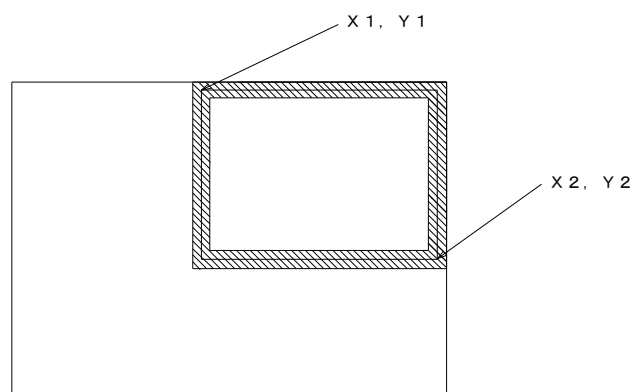
（５）ロケーションデータの設定

画面上にウィンドウ画面がある場合、その部分を指定して、ベース画面とは別にフリーズとブラックを個別に検知することができます。
ウィンドウ画面の領域を指定します。

VADch	チャンネル名	X1	Y1	X2	Y2
1	Ch1	0	0	0	0
2	Ch2	0	0	0	0
3	Ch3	0	0	0	0
4	Ch4	0	0	0	0
5	Ch5	0	0	0	0
6	Ch6	0	0	0	0
7	選択不可	0	0	0	0
8	選択不可	0	0	0	0
9	Ch9	0	0	0	0
10	Ch10	0	0	0	0
11	Ch11	0	0	0	0
12	Ch12	0	0	0	0
13	Ch13	0	0	0	0
14	Ch14	0	0	0	0
15	選択不可	0	0	0	0

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「ロケーションデータ」をクリックします。

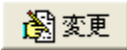
② ロケーションデータ座標の設定

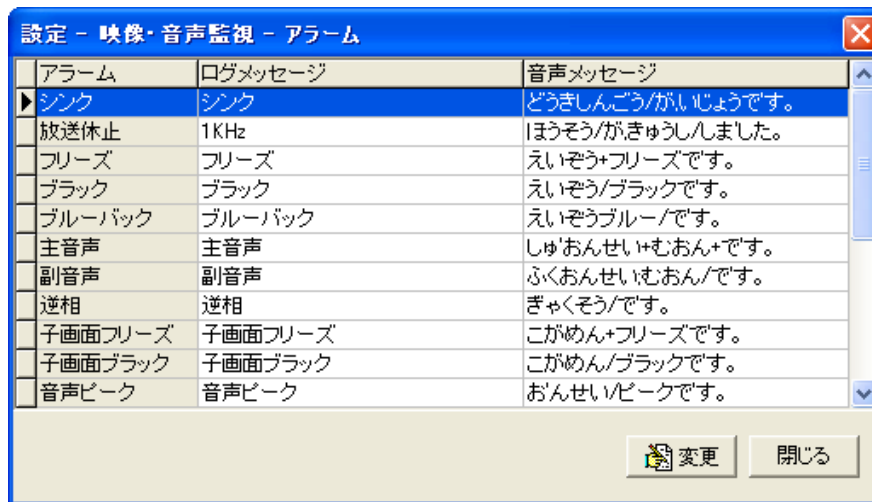
変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて 変更 ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

上図のように、ウィンドウの外枠の座標 X1,Y1、X2,Y2 を指定します。
指定するとモニタ出力からウィンドウ画面の座標の枠が出ます。
※ベースとウィンドウ画面の切替わりラインが白帯の中間に来るように設定して下さい。

入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

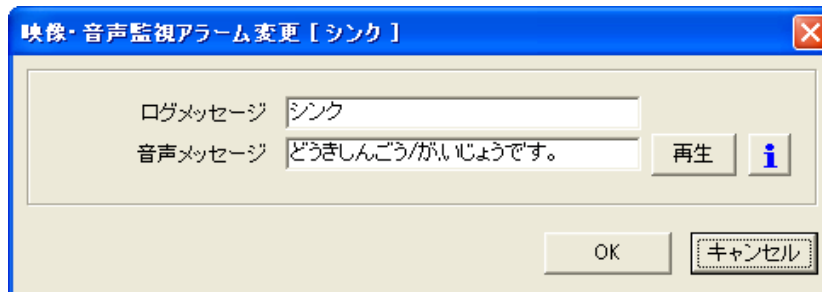
閉じる ボタンをクリックします。

（６）アラームの音声とログメッセージの設定

エラー発生時にログに表示する文言と、再生する音声メッセージを設定します。

アラーム	ログメッセージ	音声メッセージ
シンク	シンク	どうきしんごう/がいじょうです。
放送休止	1KHz	ほうそう/がきゅうし/しました。
フリーズ	フリーズ	えいぞう+フリーズです。
ブラック	ブラック	えいぞう/ブラックです。
ブルーバック	ブルーバック	えいぞうブルー/です。
主音声	主音声	しゅ'おんせい+むおん+です。
副音声	副音声	ふくおんせいむおん/です。
逆相	逆相	ぎゃくそう/です。
子画面フリーズ	子画面フリーズ	こがめん+フリーズです。
子画面ブラック	子画面ブラック	こがめん/ブラックです。
音声ピーク	音声ピーク	おんせい/ピークです。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「アラーム」をクリックします。

② アラームの設定

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて 変更 ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

ａ．ログメッセージ
　　エラー発生時にログに表示する文言を入力します。

ｂ．音声メッセージ
　　エラー発生時に読み上げる音声メッセージを入力します。

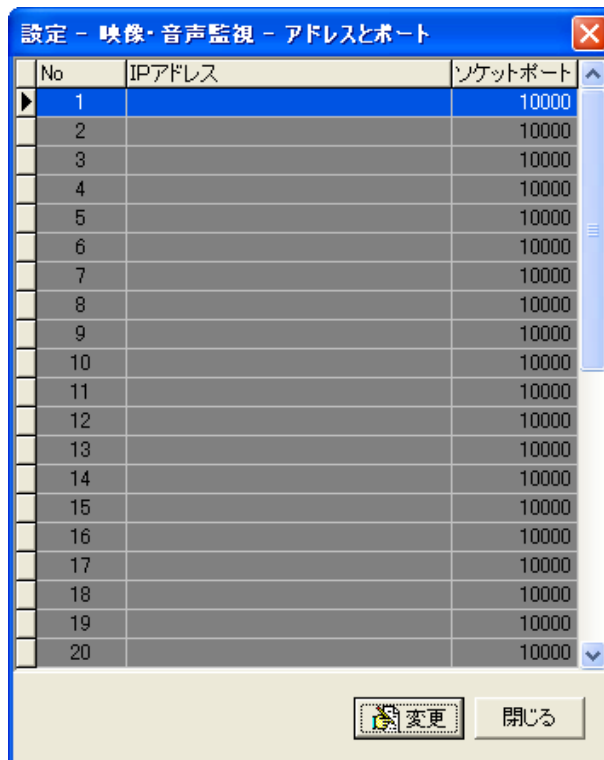
　　i ボタンをクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますので、こちらを参考に音声メッセージを入力します。

入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

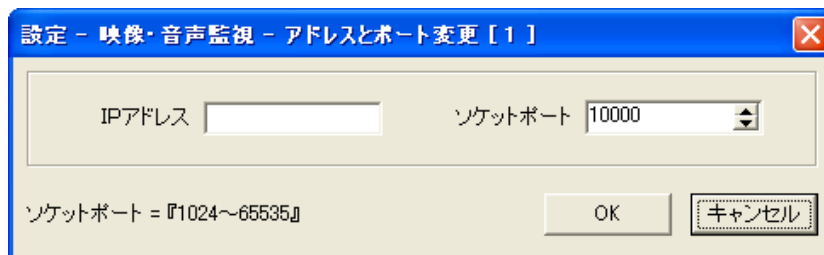
閉じる ボタンをクリックします。

（７）アドレスとポートの設定

接続されているＶＡＤ－６６０のＩＰアドレスとソケットポートを設定します。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「映像・音声監視」→「アドレスとポート」をクリックします。

② ＩＰアドレス、ソケットポートの設定

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて 変更 ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

ａ．ＩＰアドレス
　接続されているＶＡＤ－６６０のＩＰアドレスを入力します。

ｂ．ソケットポート
　接続されているＶＡＤ－６６０のソケットポートを入力します。

入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

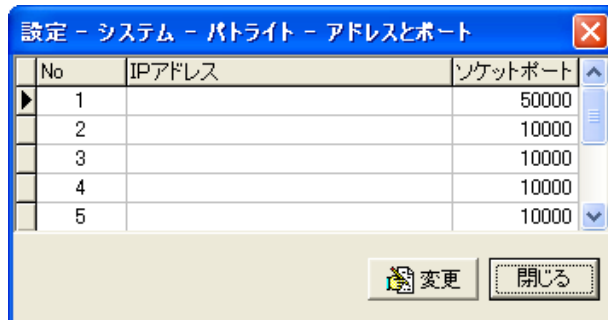
③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

３－３．パトライト（オプション）

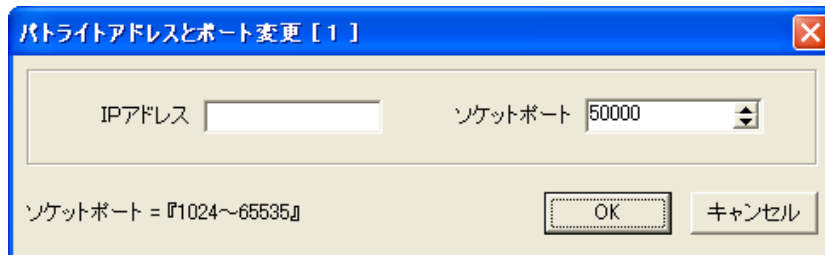
オプションでエラー発生時にパトライトを連動させることが可能です。
本システムで使用可能なパトライトはパトライト社製の｢PHN-3FB｣及び｢NHE-3FB｣です。
上記以外のパトライトについては動作いたしませんので型番をご確認の上、ご使用願います

（１）アドレスとポートの設定

パトライトのＩＰアドレスとソケットポートを設定します。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「パトライト」→「アドレスとポート」をクリックします。

② ＩＰアドレス、ソケットポートの設定

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて ［変更］ ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されます。

ａ．ＩＰアドレス
　接続されているパトライトのＩＰアドレスを入力します。

ｂ．ソケットポート
　接続されているパトライトのソケットポートを入力します。

入力が終わったら ［OK］ ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

［閉じる］ ボタンをクリックします。

（2）動作設定

パトライトのランプ点灯とブザー音の動作時間や不動日等を設定することができます。

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「パトライト」→「設定」をクリックします。

② 動作の設定

ボタンをクリックすると別ウィンドウに注意事項が開きますので、こちらを参考に設定します。

ａ．動作時間帯

開始時間と終了時間の間、パトライト動作を行います。

開始時と終了時にログを出力します。

※ 開始時間と終了時間を同じにすると動作時間帯をチェックしません。

※ 開始時間 ＞ 終了時間の設定は行えません。

ｂ．自動復帰

設定範囲は「０～３００秒」です。「０」に設定すると自動復帰しません。

本設定は全チャンネル有効です。

アラーム発生～自動復帰までの間に別のアラームが発生すると、自動復帰時間がリセットされるため、自動復帰時間が延長されることになります。

ｃ．不動日

不動日の設定を行うと、パトライト動作を行いません。

動作日の設定を行うと、動作時間帯内でパトライト動作を行います。

＜日曜日の設定＞

日曜日 ☑ にチェックすると、不動日となります。

カレンダーの日曜日部分がミュート設定色（ピンク）に変わります。

日 | 3 | 10 | 17 | 24 | 31

日曜日 ☐ のチェックを外すと、動作日となります。

カレンダーの日曜日部分がミュート解除色（赤）に変わります。

※ 日曜日の個別設定はできません。

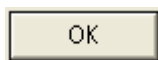
＜日曜日以外の設定＞

カレンダーの日付をダブルクリックすることで、不動日、動作日を切り替え、設定が保存されます。

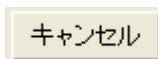
12 （動作日） ⇔ 12 （不動日）

③ メイン画面のパトライト接続表示

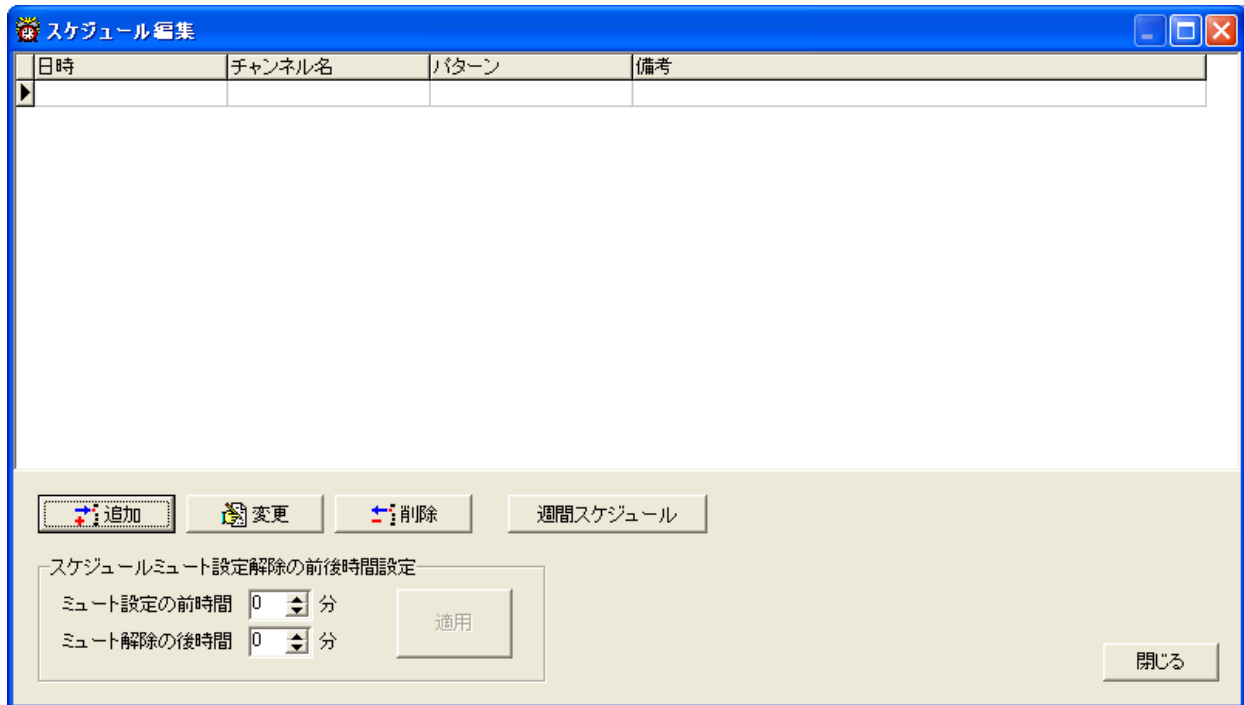
不動日または、動作時間帯外では、ミュート色（ピンク）に色変わりします。

④ 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

※ 日曜日以外の不動日設定のみ、ダブルクリックによる設定で保存されます。

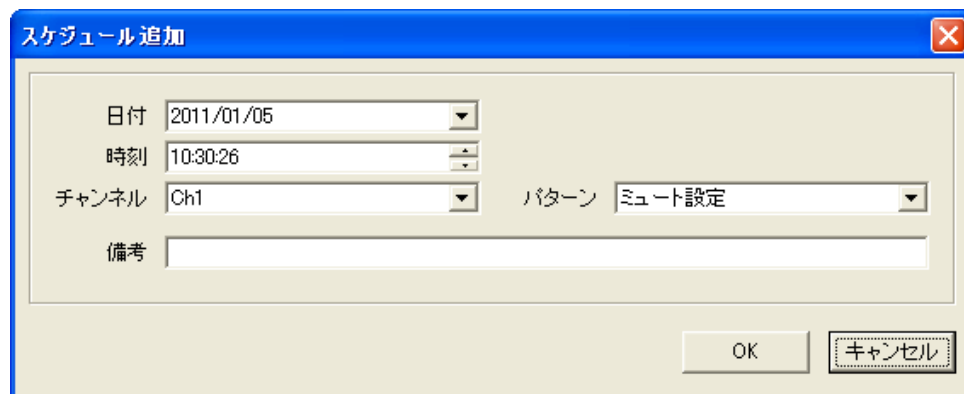
⑤ 本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

4．スケジュール機能（メニューバー）

スケジュール機能により、指定の日時に特定のチャンネルを検知対象から除外（ミュート）したり、ミュート解除したりすることが可能です。

① 本画面の起動

メニューバーの「スケジュール」→「個別設定」をクリックします。

② 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

４－１．個別スケジュールの編集

①　スケジュールの追加・変更

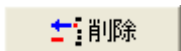
スケジュールを新規作成する場合、 追加 ボタンをクリックします。

スケジュールを変更したい場合は、変更したいスケジュールをダブルクリックするか、カーソルを合わせて 変更 ボタンをクリックします。

下記ダイアログが表示されます。

ａ．日付
ｂ．時刻
ｃ．チャンネル

　ａ～ｃには該当する内容を指定します。

ｄ．パターン
　ミュート設定／解除を選択します。

ｅ．備考
　メモ欄です。

入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

②　スケジュールの削除

スケジュールを削除したい場合は、削除したいスケジュールにカーソルを合わせて

削除 ボタンをクリックします。

４－２．週間スケジュールの設定

月～金 または 土日 の２種類のスケジュールを設定することが出来ます。

① 週間スケジュールの設定

スケジュール編集画面上の 週間スケジュール ボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。

ａ．スケジュール有効／無効

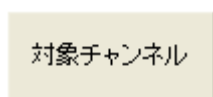
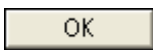
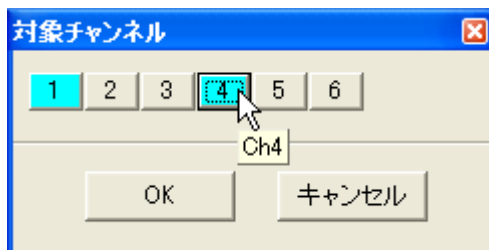
週間スケジュールを有効にしたい、 ☑ 月～金 ☑ 土日 にチェックを付けます。

ｂ．ミュート設定時刻

対象チャンネルについてミュート設定する時刻です。

ｃ．ミュート解除時刻

対象チャンネルについてミュート解除する時刻です。

d．チャンネル選択

対象チャンネル ボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。

クリックするごとに、選択（水色），選択解除（グレー） に変わります。
オンマウスでチャンネル名が表示されます。

チャンネルを選択したら OK ボタンをクリックします。

週間スケジュール画面の対象チャンネル一覧が表示更新されます。

週間スケジュール画面の入力が終わったら OK ボタンをクリックします。

４－３．スケジュール動作時の前後時間設定

スケジュール実行に際し、前後時間が設定できます。

① ミュート設定の前時間設定
スケジュール時刻の〇〇分前にミュート設定が行われます。（０～６０分）

② ミュート解除の後時間設定
スケジュール時刻の〇〇分後にミュート解除が行われます。（０～６０分）

※前後時間の設定とスケジュール実行時刻

（分）	（分）	スケジュール登録時刻		スケジュール実行時刻	
前時間	後時間	ミュート設定	ミュート解除	ミュート設定	ミュート解除
0	0	3:00:00	3:01:00	3:00:00	3:01:00
1	1	3:00:00	3:01:00	2:59:00	3:02:00
1	1	6/21 0:00:00	6/21 23:59:00	6/20 23:59:00	6/22 0:00:00

時間を変更すると 適用 ボタンが有効になるので、クリックします。

５．ログ抽出（メニューバー）

ログリストから、日付・時刻・チャンネル名・アラーム内容・ユニットＮＯの条件を指定して、抽出することができます。

① 本画面の起動

メニューバーの「ログ抽出」をクリックします。

② 条件の指定

ａ．日付

抽出したい日付の範囲を指定します。

← ALL ボタンをクリックすると現在の日付まで自動で入力されます。

ｂ．時刻

抽出したい日付の範囲を指定します。

← ALL ボタンをクリックすると 0:00:00～23:59:59 が自動で入力されます。

ｃ．内容

抽出したいログ内容を入力します。

ｄ．チャンネル

抽出したいチャンネル名を選択します。

ｅ．ＶＡＤ－６６０

抽出したいユニットを選択します。

③　抽出結果の表示と保存

条件を指定したら OK ボタンをクリックします。

別ウィンドウで抽出ログ画面が表示され、指定条件に合致するリストが表示されます。

日時	内容
2011/01/11 14:25:23	システム起動 [ログアウト]
2011/01/11 15:38:42	担当 変更 [Administrator]
2011/01/11 16:43:58	設定-映像・音声監視-アラーム 変更 [Administrator]
2011/01/11 16:44:29	設定-映像・音声監視-アドレスとポート 変更 [Administrator]
2011/01/11 16:44:42	設定-映像・音声監視-アドレスとポート 変更 [Administrator]
2011/01/11 16:44:43	映像・音声監視ユニットと切断しました VAD-660-1
2011/01/11 17:28:08	ミュート 設定 <Ch1> [Administrator]
2011/01/11 17:28:08	スケジュール実行 Ch1:ミュート設定
2011/01/11 17:30:38	スケジュール編集 [Administrator]
2011/01/11 17:40:00	ミュート 解除 <Ch1> [Administrator]
2011/01/11 17:40:00	スケジュール実行 Ch1:ミュート解除 aaaa
2011/01/11 17:40:05	スケジュール編集 [Administrator]
2011/01/11 18:01:25	スケジュール編集 [Administrator]
2011/01/11 18:03:51	システム停止 [Administrator]
2011/01/12 11:41:38	システム起動 [ログアウト]
2011/01/12 11:41:45	担当 変更 [Administrator]

「ファイル」メニュー → 「保存」をクリックするとログ抽出結果をＣＳＶ形式で保存できます。

「ファイル」メニュー → 「閉じる」をクリックすると本画面を終了します。

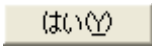
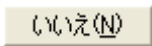
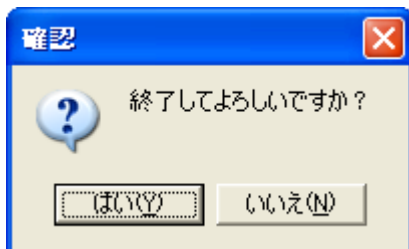
④　ログ抽出の中止

キャンセル ボタンをクリックします。

6．バージョン情報（メニューバー）

コントロールソフトウェアのバージョン情報を表示します。

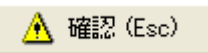
① 本画面の起動
メニューバーの「バージョン情報」をクリックします。

② 本画面の終了
本画面をクリックします。

7．終了（メニューバー）

コントロールソフトウェアを終了します。

メニューバーの「終了」をクリックするか、メイン画面の をクリックすると上記確認画面が表示されます。

はい(Y) をクリックすると管理ソフトを終了します。

いいえ(N) をクリックすると終了処理を中止します。

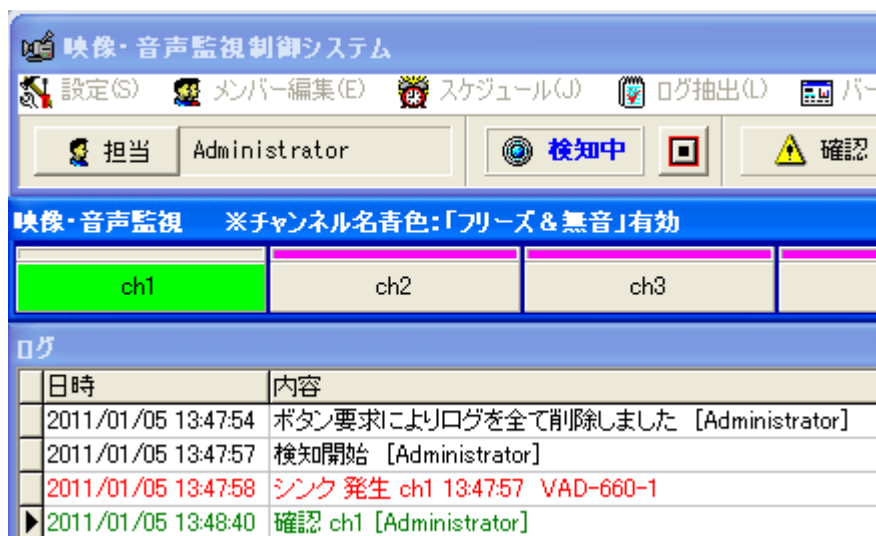
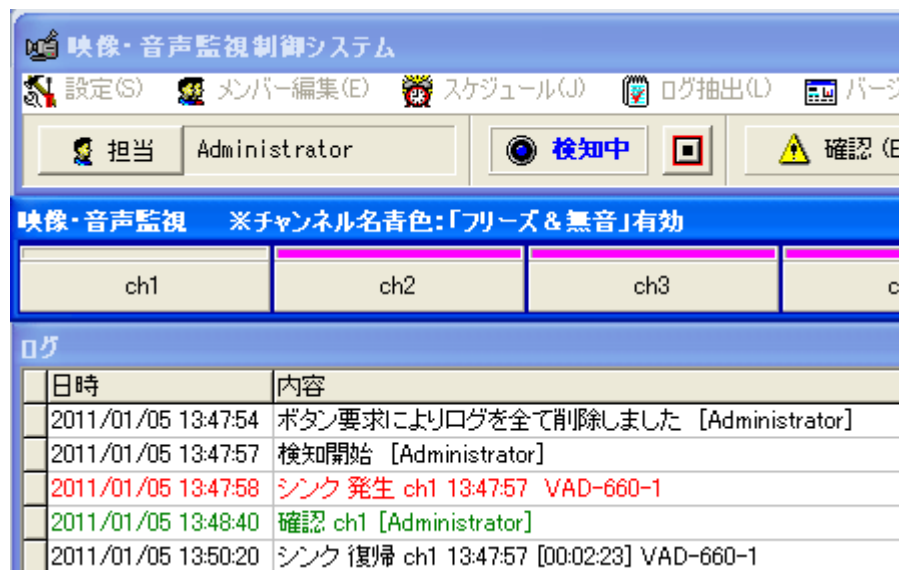
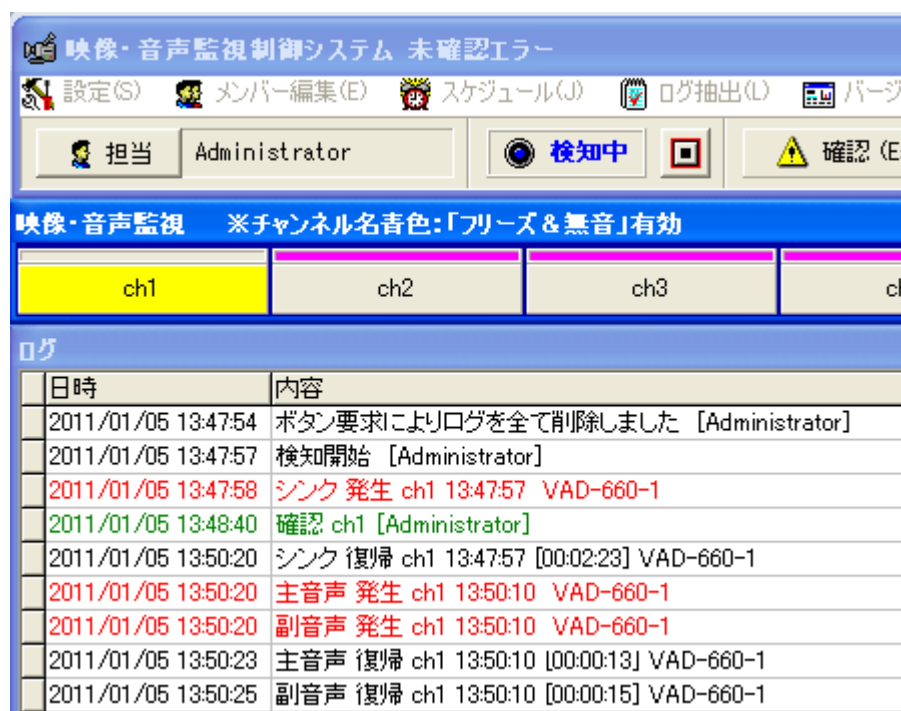
8．運用方法

（1）全ての設定が終了したら、「停止中」の横の（検知開始ボタン）をクリックし、エラーのモニタリングを開始します。

表示が に変化し、「検知中」のＬＥＤが点滅します。

は検知停止ボタンとなり、クリックすると検知を停止します。

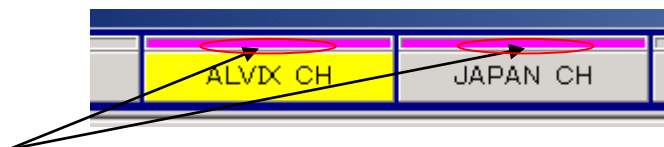
（2）エラーが検知されると、該当するエラーのチャンネルボタンが赤色に変わるとともに、ログリストにログが追加されます。

（3）エラーのチャンネルをクリックし、ソフト上で確認すると、ボタンは緑色に変わります。

また、確認 (Esc) ボタンをクリックするかＥＳＣキーを押すことにより、全てのエラーを確認したとみなし、ボタンは緑色に変わります。

（４）確認後にエラー自体が復帰すると、通常のボタン（灰色）に戻ります。

（５）確認作業をしないうちにエラーが自然復帰すると、ボタンは黄色に変わります。

黄色ボタンをクリックすると確認したとみなします。

エラーは既に復帰しているので、通常のボタン（灰色）に戻ります。

（！）チャンネルのミュート（検知対象外）について

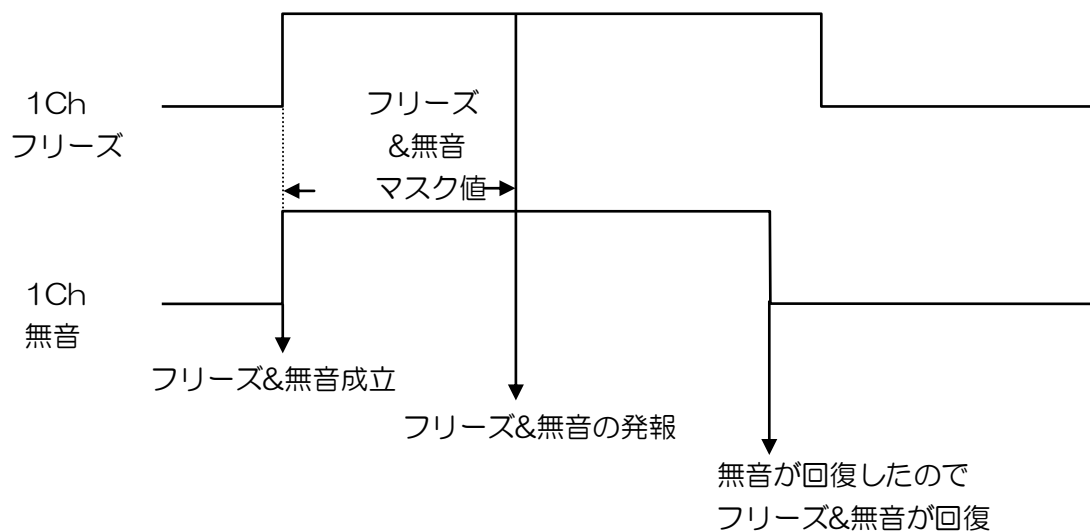
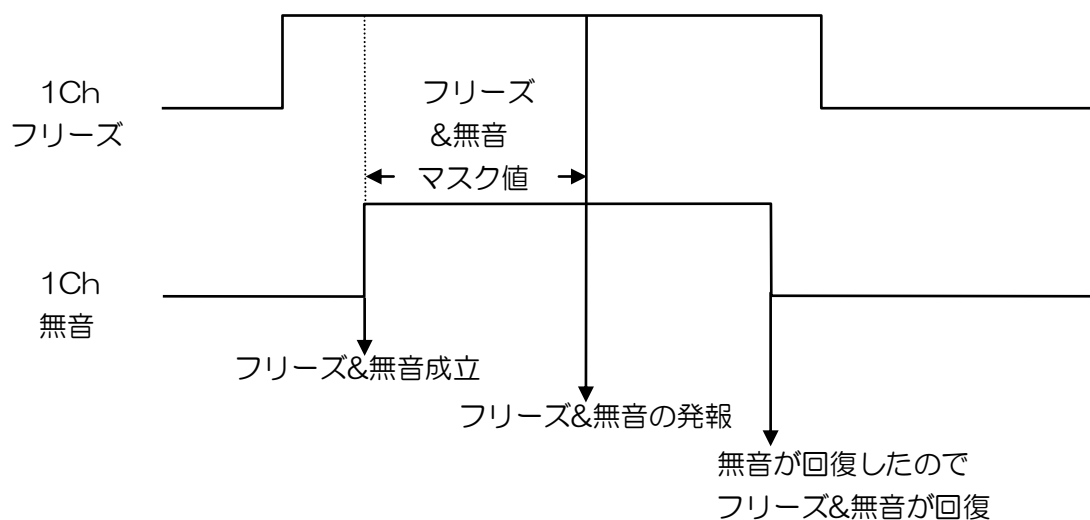
チャンネル毎に検知の対象から除外することができます。（メンテナンス時や放送休止時などに使用できます）

ここをダブルクリックすることで、チャンネルのミュートを設定・解除できます。
ミュート中はチャンネルボタンの上部がピンクで表示されます。
（スケジュール機能によりミュートになった場合もピンクの表示になります。）

９．機能補足説明

９－１．フリーズ&無音検知機能

フリーズ&無音は、各チャンネルにおいてフリーズと無音が同時発生し、マスク値を超えた時にエラーを発報します。
この成立条件から外れた時を、フリーズ&無音の回復とします。
本エラーは、フリーズ&無音のマスク値設定が有効となっている必要があります。
（マスク値設定で設定値が０以外となっている場合が有効）

本エラーとは無関係に、フリーズ、無音もそれぞれのマスク時間を経過すると発報されます。

［動作例１：アラーム同時発生］

［動作例２：アラーム別発生］
個別にエラーが発生した場合、フリーズ&無音成立条件を満たした時に発生となります。

１０．特記事項

１０－１．インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８